

研究評価委員会分科会の各委員からの所見について(事前評価)

課題名「世界の大地震不均質断層モデルの構築及びカタログ作成に関する研究開発」

1. 主な所見

- ・ 所見 : (目的・必要性に関する意見)
 - ・ 信頼性の高い地震カタログ作成を中心にし、それを用いた地震動推定は別途考えた方が良い。
 - ・ 不均質断層モデルは世界に向けて情報発信、強震動は教育用とのことなので、その違いを明確にしたほうが良いと思われる。
 - ・ 不均質断層モデルの構築と、強震動の推定は、目的とするところが、若干異なるとのことなので、その違いを明確にしたほうがよいと思われる。
 - ・ 地震動推定は、むしろ、別プロジェクトで実施する方が目的がはっきりするのでは。

- ・ 所見 : (具体的計画に関する意見)
 - ・ 具体的にどのような地震を対象にしようとしているのか、地震カタログを整えることと、強震動推定・強震動と被害の関係解明との関連性がそれほど明確でないなど、具体的計画の立案に甘さが見受けられる。

- ・ 所見 : (体制に関する意見)
 - ・ 提供された資料だけからでは、経費の使途・担当者の役割分担などが適切であるのかどうか判断できない。
 - ・ 他の研究機関あるいは海外研修生との協力など検討してほしい。

- ・ 所見 : (目標とする成果に関する意見)
 - ・ 他研究機関、研究者のモデルパラメータとの対照表、参考論文リストなども整理し、各モデルパラメータの違いを考察してあると大変有用である。
 - ・ 最終成果のカタログには、それぞれの不均質断層モデルの既往の研究結果も比較できるように公表して欲しい。

2. 主な所見に対する回答

- ・ 所見 に対する回答：
不均質断層モデルの構築及びカタログ作成を主題としつつ、成果の応用例の一つとして強震動推定を行いたい。位置付けを明確にする。

- ・ 所見 に対する回答：
不均質断層モデルの構築及びカタログ作成を主題としつつ、成果の応用例の一つとして強震動推定を行いたい。位置付けを明確にする。「強震動と被害の関係解明」については削除する。

- ・ 所見 に対する回答：
経費の使途は以下の通りである。各解析に必要な計算機、ソフトウェアの購入のほか、カタログ作成に際してルーティン的な作業については SE を雇い効率化を図る。担当者の役割分担は以下の通りである。総括：古川、余震・断層面：古川、震源メカニズム：原、震源過程モデル：八木、強震動：横井。

ローカルデータの提供に関して、他機関との協力を検討したい。また、震度分布などのデータが可能であれば入手したい。

・ 所見 に対する回答：

他者による研究も調査し、余震分布と震源メカニズムについては既往の研究結果（ハーバード大学、米国地質調査所等）と比較したい。但し、震源過程モデルについては、比較できるように参考文献を掲載したい。また、一部の地震についてはモデルの比較を行う。なお、「震源過程モデル」に関しては、データの均質性を考慮し、遠地地震だけを使ったモデルを提出する。しかし、一部の地震については、遠地地震と近地強震動の両者を使ったモデルを提出したい。